

①【目的】

- ・ JEHC標準通信仕様の通信コマンドの送受信をテストすることができます。

②【機能概要】

- ・ コマンドの送信
- ・ 応答受信及び、受信レコードの表示
- ・ Monフォーマット受信時に、MonDataのレコード長計算
- ・ 設定フォーマット受信時に、設定Data (RS, WS) のレコード長計算
- ・ レシピIndexフォーマット受信時に、レシピIndex (RRI, WRI) のレコード長計算
- ・ レシピDataフォーマット受信時に、レシピData (RRD, WRD) のレコード長計算
- ・ RK2 コマンド時に、Rev.、FTP項目 (ID, PW, Pas) へ転記・表示
- ・ RK コマンド時に、WK レコード作成
- ・ RK2 コマンド時に、WK2 レコード作成
- ・ RS コマンド時に、WS レコード作成
- ・ RRI コマンド時に、WRI レコード作成
- ・ RRD コマンド時に、WRD レコード作成
- ・ FTP通信 FTP://IpAddress:Port3/Pass/ ヘッダー送受信
- ・ Port1/2/3/ 別に通信をする。 Port3は、FTP画像転送用

③【準備】

- 1) テスト機器 (シミュレーターPC含む) を、イーサネットに接続してTCP/IP通信のテストを行います。 (同じPC内でも通信テスト可能)
 - ・ IpAddressが同じサブネットマスク内にあることを確認してください。
 - ・ DHCPサーバーで、IpAddressを割り当てるか、固定IpAddressを手動で、割り当ててください。
- 2) FTP画像転送をする場合は、機器側(シミュレーターを入れるPC含む)にFTPサーバーの設定をする必要があります。
 - ・ IISのFTPサーバーとFTP管理ツールをインストールしてください。
 - ・ USID, Password, Port (Port3), 読み書き許可、エリアスで書き込むフォルダーを設定します。
 - ・ V2TCPClient (このアプリ) を実行するPC上に、"C:\FTPPIC" フォルダーを作成し、FTPテスト用の画像をCOPYします。 (圧縮フォルダーFTPPICをCOPYして作成しても良い。)

準備

準備

④【操作】

1) 画面の「IpAddress, Port1」にテスト機器のIpAddressとPortを入力してください。
(Port2, 3は、RK2コマンド時に転記される)

操作

2) 各コマンドの[送信]ボタンを押すと、コマンドが送信され、機器からの返信を受け表示します。
・連続データが返信された場合は、改行して複数行に表示します。
・受信データ長を表示する。長さが異なる場合はメッセージを表示します。
・受信は、1000msでタイムアウトし、タイムアウトメッセージを表示します。
・機種・Err・計測・設定・レンジ・制御などの通信をテストします。

操作

3) FTPの画像ファイル転送をする場合は、RK2コマンドを実行し、機器(シミュレーター含む)の拡張情報(FTP,Port3,Pass,USID,PassWord)を読み込む。(テスト用に変更可能です。)
・Passは、指定機器の”FTP://xxx.xxx.xxx.xxx:Port3/”の下にあるフォルダー指定になります。
・Pass=””の場合、指定機器でエイリアスの定義をした仮想Dirにアクセスします。
・IpAddress:Port3に対して、FTP転送(Read/Write)のテストができます。
・画像書込みは、指定したファイルを、”C:\FTPPIC”フォルダーから、機器へ転送します。
・画像読み込みは、指定したファイルを、機器のFTPで指定したホルダーから、このアプリが動作しているPCの”C:\FTPPIC”フォルダーへ転送します。

以上